第51期
決算説明会

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。

2022年 9月21日（水）／札幌本社

総合商研株式会社

Financial Results Presentation
for the 51th term

INDEX

1 第51期連結業績ハイライト

2 第51期トピックス

3 第52期の連結業績予想・取組み

4 参考資料

第51期連結業績ハイライト

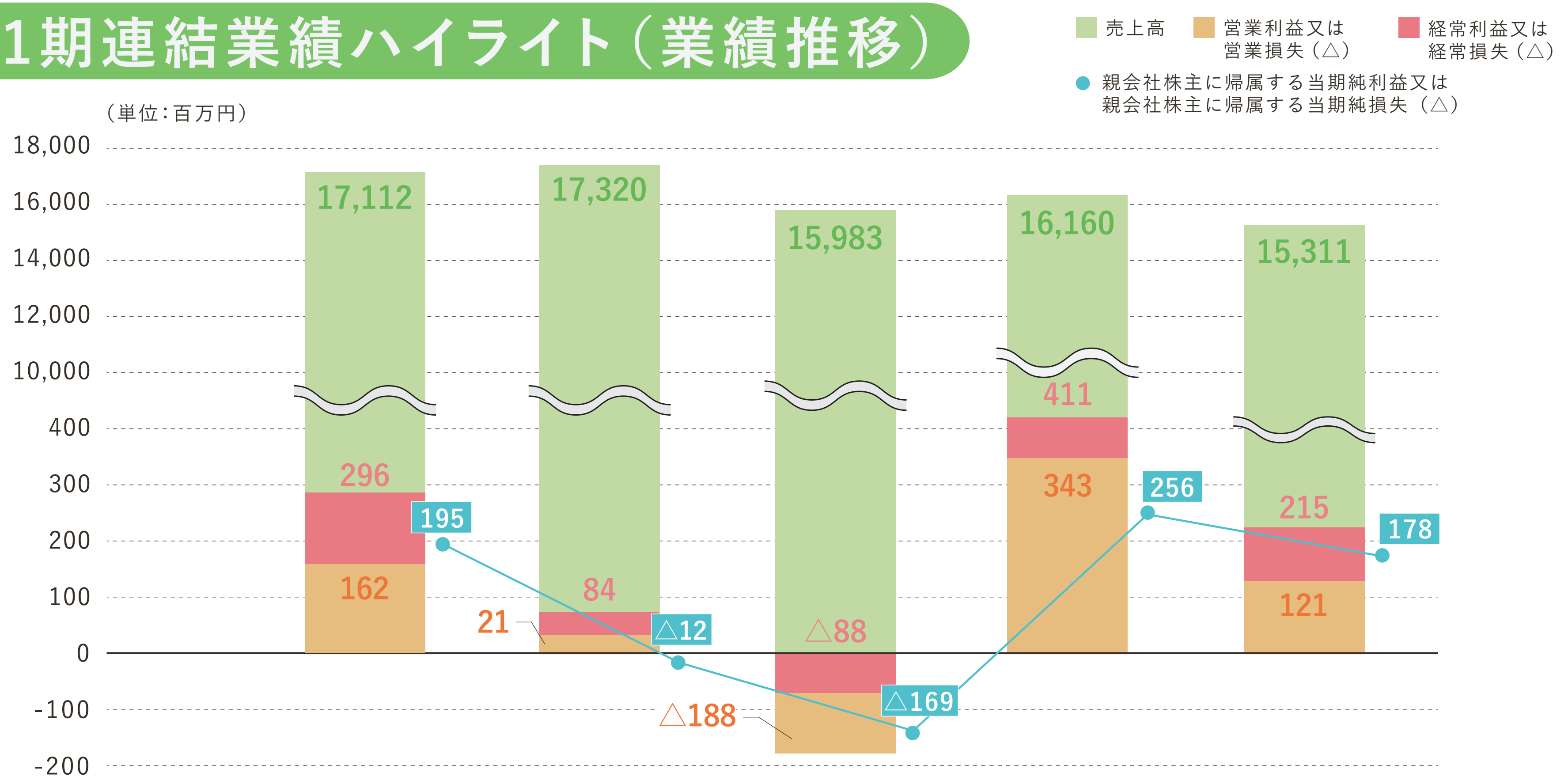
概 要

- 年賀状印刷は、前期受注のあった年賀商品の未実施により売上高が減少。
- 商業印刷は、近年の需要減少に加え新型コロナウイルスの影響により受注減。
- 前期に引き続き、**委託業務の内製化や作業工程の自動化**を行ったものの、**原材料費及びエネルギー価格の高騰**等により減益。

（単位：百万円）

	第50期	第51期	増 減	増減率
売上高	16,160	15,311	△848	△5.3%
営業利益	343	121	△222	△64.7%
経常利益	411	215	△195	△47.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	256	178	△77	△30.2%

第51期連結業績ハイライト（業績推移）



（単位：百万円）

	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
売上高	17,112	17,320	15,983	16,160	15,311
営業利益又は営業損失（△）	162	21	△188	343	121
経常利益又は経常損失（△）	296	84	△88	411	215
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	195	△12	△169	256	178

TOPIX

01. 日本郵政グループとの取り組み

上半期、日本郵便（株）より東京2020メダリスト公式フレーム切手の制作・事務局運営を受託し、切手の印刷も担当したのに引き続き、下半期には、同社より北京2022冬季オリンピック・パラリンピック日本代表選手メダリスト公式フレーム切手の制作・事務局運営を受託しました。また、（株）郵便局物販サービスより、今期もカタログの印刷及びエントリー・コールセンター業務などを受託しました。年賀事業の運用・システムを応用し、当社の強みを活かした社内一貫体制にて、印刷だけにとどまらず、高度なセキュリティ体制で個人情報を扱うBPO業務を担うなど、同社グループとの連携を強化しております。

年賀状印刷事業から始まったBPO事業ですが、今後は新規企業や自治体からの受注獲得を目指してまいります。

左：©JOC出典：日本郵便株式会社プレスリリース（2022年1月21日）
右：©JPC出典：日本郵便株式会社プレスリリース（2022年1月21日）

02.「ふりっぱーnet」事業の拡大

2020年11月に開始した地域BWA（Broadband Wireless Access：地域広帯域無線アクセス）システムの通信インフラを活用したインターネット接続サービス「ふりっぱーnet」事業では、基地局申請により順次対象エリア拡大に努めており、本年8月末現在で札幌市内の約72.4%の世帯数をカバーするに至り、契約数は約744件となっております。

また、今期、法人第1号として、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と契約を締結し、札幌市内の児童会館110館にWi-Fi接続サービスの環境整備を行いました。これまでは個人への営業を中心としておりましたが、今後、法人へと契約拡大を企図しており、その最初のモデルとなりました。

ふりっぱーnet

03.自治体との取組強化

広報さっぽろの印刷業務3区分のうち、当社は前年より1区分増え2区分を受託しました。前年は落札できなかった配布業務も3区分のうち1区分が受託となり、広報誌レイアウト制作業務も公募型企画競争で引き続き当社受託となっております。そのほか、「選挙公報配布業務」、「札幌オータムフェスト2021」のECサイト運営、道外では「さいたま市魅力発信情報誌」、大田区の「健康冊子SPOOTA!」の制作など、多くの自治体案件に携わりました。

また、さいたま市から運営を受託している東日本連携センターでは、コロナ感染症も多少落ち着きを見せるなか、シティプロモーションに関するイベントを数多く開催いたしました。6月開催の「平取町のアイヌ文化と観光フェア」では、過去最高の売上を記録しました。

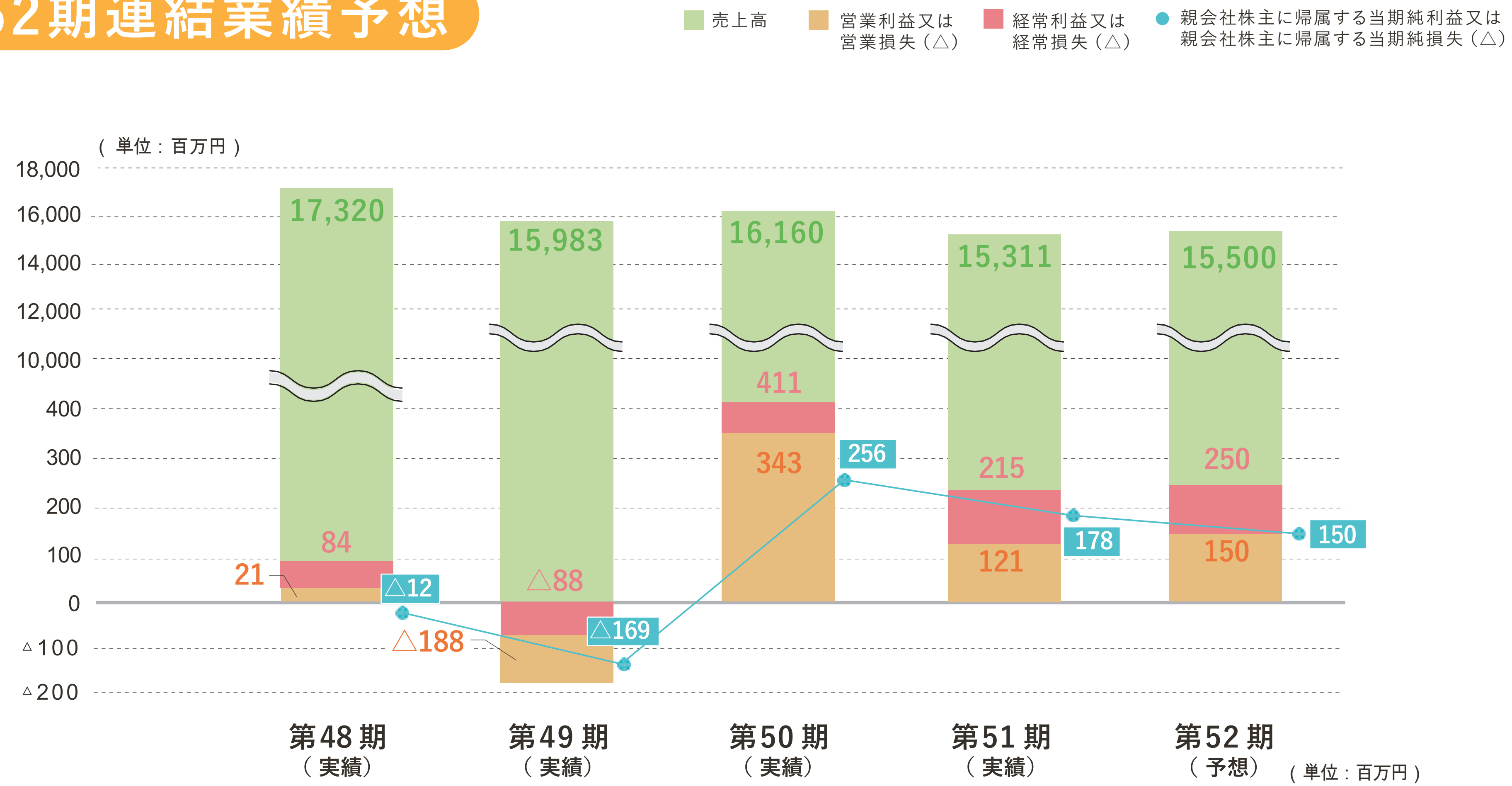
令和4年3月をもって1年間の受託期間が終了しましたが、運営実績の評価を受けて、4月からも引き続き当社にて運営をいたしております。

04.「ふりっぱーデジタルクーポン事業」の運営

札幌市による、「デジタル」を活用した販促事業に対する補助金助成事業において、当社が事務局となって運営する「ふりっぱーデジタルクーポン事業」が採択となりました。当社発行のデジタルクーポンを店舗で利用し、割引となった額全額が札幌市より補助されるもので、当社発行のフリーペーパー「ふりっぱー」等で告知をすることにより、2万人以上の事前登録者を確保し、30日間の合計で約68百万円分のクーポン使用につながりました。

webが苦手とする短期間での集客を、即効性にすぐれた紙媒体で補完することで販売促進の効果につなげるという、デジタルとアナログの融合によるモデル事例のひとつとなりました。

第52期連結業績予想



（単位：百万円）

	第48期（実績）	第49期（実績）	第50期（実績）	第51期（実績）	第52期（予想）
売上高	17,320	15,983	16,160	15,311	15,500
営業利益又は営業損失（△）	21	△188	343	121	150
経常利益又は経常損失（△）	84	△88	411	215	250
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△12	△169	256	178	150

第52期の取組み

販売促進活動の深化

- 自社メディア「ふりっぱー」を活用した取組み
- 紙媒体とデジタルの融合
- デジタルプラットフォームの活用
- デジタルコンテンツの自社制作
- 他社との業務提携による競争力の強化（ex.株式会社サンパックスとの業務提携）

コスト削減・資産の効率的運用

- 自社リソースの確保による外注業務の削減・内製化
- 印刷作業工程の見直しや、AＩソリューションの開発による作業工程のオートメーション化
- 工場の通年稼働・効率運用に向けた取組み
- 市場環境の動向を見据えた計画的な設備投資

人財の確保・育成 職場環境づくり

- 事業発展に貢献できる人財の育成
- デジタル人財をはじめとする専門分野における人財の確保・育成
- 積極的にチャレンジしやすい環境、働きやすい環境づくり
- 企業理念の浸透とエンゲージメント向上

地方創生支援事業の拡大

- 地方創生支援事業拡大に向けた人員・組織の強化（地方創生支援部の創設）
- 自治体案件の受託拡大（BPO事業含む）
- 地域資産の掘り起こし・商品化及び通販による地元特産品等の販売

参 考 資 料

参考資料

連結損益計算書

（単位：百万円）

	第49期	第50期	第51期	対前期増減
売上高	15,983	16,160	15,311	△848
営業利益又は営業損失（△）	△188	343	121	△222
経常利益又は経常損失（△）	△88	411	215	△195
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△169	256	178	△77

参考資料

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	第50期	第51期	増減
現金及び預金	1,653	1,529	△123
その他	2,232	2,127	△104
流動資産合計	3,885	3,657	△228
有形固定資産	3,876	3,655	△220
その他	1,625	1,634	9
固定資産合計	5,501	5,289	△211
繰延資産合計	0	1	0
資産合計	9,387	8,948	△438

	第50期	第51期	増減
流動負債	3,959	2,927	△1,032
固定負債	3,030	3,546	516
負債合計	6,989	6,473	△515
資本金	411	411	－
利益剰余金	1,178	1,280	101
その他	806	782	△24
純資産合計	2,397	2,474	77
負債純資産合計	9,387	8,948	△438

参考資料

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	第50期	第51期	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,436	584	△852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183	△294	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,202	△401	800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	50	△111	△161
現金及び現金同等物の期首残高	1,602	1,653	50
現金及び現金同等物の期末残高	1,653	1,529	△123

参考資料

損益計算書(個別)

（単位：百万円）

	第49期	第50期	第51期	対前期増減
売上高	15,694	15,870	15,040	△830
営業利益又は営業損失(△)	△200	323	130	△192
経常利益又は経常損失(△)	△97	391	249	△142
当期純利益又は当期純損失(△)	△171	238	173	△65

参考資料

貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	第50期	第51期	増減
現金及び預金	1,424	1,412	△12
その他	2,167	2,015	△151
流動資産合計	3,591	3,427	△164
有形固定資産	3,870	3,621	△249
その他	1,640	1,648	8
固定資産合計	5,511	5,269	△241
繰延資産合計	0	1	0
資産合計	9,103	8,698	△405

	第50期	第51期	増減
流動負債	3,906	2,884	△1,022
固定負債	2,886	3,436	550
負債合計	6,792	6,321	△471
資本金	411	411	−
利益剰余金	1,150	1,233	83
その他	748	732	△16
純資産合計	2,310	2,377	66
負債純資産合計	9,103	8,698	△405